

広報

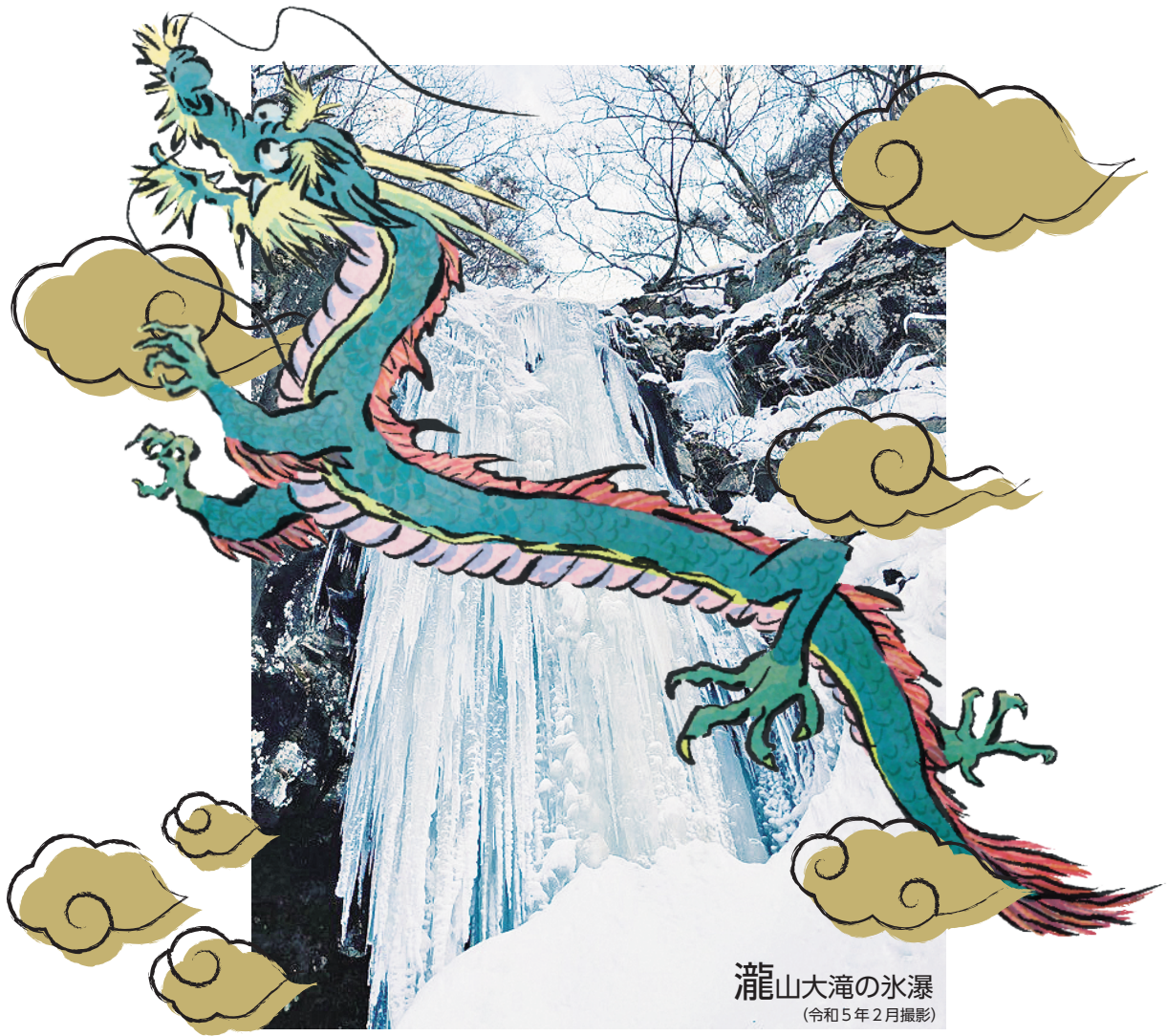
Kouhou Yamagata No.2039

令和6年

1月1日号

山形市

やまがた



瀧山大滝の氷瀑
(令和5年2月撮影)

辰のイラスト:地域おこし協力隊 高安恭介

特集



- ・新春特集
「都市をデザインする」
- ・来て、見て、感じて
山形市を知ってほしい

くらし



- ・償却資産の申告
- ・消防出初式

イベント



- ・初市
- ・ウインターフェスティバル
山形冬の花火大会
in霞城公園
- ・さくら咲くやまがた
冬のさくらキャンペーン
2024

まち都市を デザイン する



「デザイン」とは、目的を達成するための計画を立て、人々が理解できるように表現する、一連のプロセスのことを言います。

普段は気付くことのない、山形市の政策に生かされている「デザイン」について、市長と関係者にお聞きしました。

今、それぞれの自治体がまちの魅力を高めるために努力をし、個性を出そうとしています。

まちの魅力を高め、個性を出していくためには、行政だけではなく、市民の皆さんや企業など、それぞれが同じ方向を向いて歩みを進めることが重要です。

行政がビジョンを示し、思いや考えを伝えることでビジョンに共感し、共に行動してくれる人を増やしていく。そうすることで、まちの個性を形づくり、強くしていくと考えています。

山形市のビジョン

山形市は健康医療先進都市と文化創造都市の2つのビジョンを掲げています。山形市の個々の政策課題や政策テーマは、この2大ビジョンに基づいており、いわば、この2つのビジョンの実現が都市デザインと言えらると思います。

例えば、中心市街地グランドデザインでは、「歩くほど幸せになるまち」をコンセプトにしています。

このコンセプトは、健康医療先進都市としての大きなテーマである「市民の健康寿命を延ばす」ことから着想したものです。歩くことは健康維持の基本ですが、車社会になり歩く機会が少なくなっている中、中心市街地に居心地が良い空間を整備し、回遊してもらう仕組みをつくることで、歩く機会を増やそうとするものです。

また、山形市では、特に秋になるとさまざまな団体がイベントを実施しています。それを広く知ってもらうために始めたのが「やまがた秋の芸術祭」です。まちなかを歩けば至るところで音楽やアートなどに触れられる、そんなイベントになっています。

これも、歩いてもらう仕組みをつくる、文化・芸術に触れる機会を増やすという点において、2大ビジョンに基づいて行っている取り組みです。

しかし、行政だけで取り組むのは限界があります。ビジョンの実現には行政だけではなく、市民や民間の活力などより多くの力を結集して進めていくことが必要です。

民間活力の活用

やまがたクリエイティブシティセンターQ1

やまがたクリエイティブシティセンターQ1は、文化創造都市の活動拠点として、山形市立第一小学校旧校舎をリノベーションし生まれました。ユネスコ創造都市ネットワークに加盟している山形市を象徴し、文化創造都市のビジョンを体現している施設です。

Q1では、ビジョンを具現化するために、課題を対話によって導き、試行錯誤を繰り返しながら完成形に近づけるといふ、行政としては珍しい手法を採用しました。

山形市立第一小学校の旧校舎は、以前は山形まなび館として1階と地下だけ使用していましたが、観光や市民活動などさまざまな側面があるために、施設の位置付けが曖昧で、2、3階の活用も課題となっていました。そこで、ユネスコ創造都市ネットワークの映画分野に加盟したことを機に、文化創造都市の拠点施設というコンセプトを明確に定めました。

コンセプトを決めた後は、行政だけでなく多くの皆さんからご意見を伺うべきと考え、構想を検



写真提供：株式会社Q1

討する段階から文化創造都市の拠点施設にはどんな機能が必要かなどを文化団体や東北芸術工科大学の方とゼロから議論しました。ある程度の構想が決まった後も、2年間は実験的に活用する期間を設け、徐々に文化創造都市の拠点施設のイメージを具体化していきました。Q1がオープンしたときも、テナントが全部埋まった状態ではなく、運営しながら中身を充実させていくという考え方を取っています。

こうしたやり方は、行政としては非常に新しい手法ですが、ビジョンやコンセプトを具現化してい

くという意味においては、デザインの手法を効果的に取り入れた一つの好事例として挙げられると思います。結果的に、Q1の場合も当初想定していなかったような良いテナントが入居するなど、思いがけない効果がありました。

Q1が柔軟に対応し、進化していく運営を行った結果、始めは若い方の来館が多かったですが、今は幅広い世代の方に来ていただき、県外から訪れてくれる方も多く見掛けるようになりました。

また、いろんな企業が製品発表会等でQ1のイベントスペースを活用したり、クリエイターと企業と一緒に商品やサービスを開発したり、Q1は文化創造都市の拠点施設として意図した結果が出ていると感じています。これこそ施設のコンセプトを具現化するデザインが見事に奏功した結果だと考えています。

Q1はこれからもまだまだ進化していきます。

シエルターインクルーシブプレイスコパル

屋内型の児童遊戯施設としては、市内北部のべっこひろばに多くの利用者が訪れていました。が、市内全域における子育て支援機能をさらに充実させる上では、

南部への新たな設置が望まれていました。

一方、県内各地に屋内型の児童遊戯施設が整備されている中、特徴のある施設にする必要があるとも考えていました。多くの人が集まるまちにするためには、多様性が非常に大事になってくると考えていたことから新しい施設のコンセプトを「インクルーシブ1」と決めました。

インクルーシブをコンセプトにした施設は全国にもあまり例がなかったため、民間事業者から幅広くアイデアを募集し、今のコパルの考え方や建物のプランが選ばれました。

公共施設を整備する際は、設計・建設・運営をそれぞれ別に発注することが多いですが、コパルの場合はビジョンやコンセプトを実現するために、戦略的にPFIという手法を用いました。設計・建設・運営を一括して発注することで、「インクルーシブ」という考え方を建物と運営とが一貫してまるごと体現する施設が生まれました。

コパルは、令和4年4月にオープンして以来、すでに約26万人にご利用いただき、お子さんや親御さんに大変喜ばれています。

また、インクルーシブという考

え方を体現した施設として高く評価されており、グッドデザイン賞など数々の賞を受賞したほかに、約1300件を超える視察を受け入れるなど、全国的にも注目される施設となっています。

運営面でも、インクルーシブという考え方に沿った企画やイベントがすでにたくさん行われていますが、コパルは、まさにデザイン之力でコンセプトの具現化を果たした施設と言えます。

今後インクルーシブを体現し、体験していただける施設として運営していきたいと考えています。



歩くほど幸せになるまち

山形市は、中心市街地ブランドデザインの中で「歩くほど幸せになるまち」をコンセプトにし、居心地が良い空間の整備や回遊してもらおう仕組みづくり、公共交通の利用促進などを掲げています。

行政がブランドデザインの中でビジョンを示し、自ら積極的な投資や政策を行っていく。そうすることで、新規出店などの民間投資が生まれて、中心市街地の魅力がどんどん高まっていく、そうした流れをつくろうと、ビジョンを示し取り組んできたことがまさに「まちをデザイン」することだと言えると思います。

居心地が良く歩きたくなるまちなづくり

「歩くほど幸せになるまち」の実現に向けた取り組みの一つが、まちなかを車から人中心の空間へと変える「ウォークアブルなまちづくり」です。

山形駅前大通りやすすらん通り、シネマ通り、七日町大通りなどにおいて、公共空間の有効活用を図り、滞在空間を生み出す取り組みを行うなど、「居心地が良く歩きたくなるまち」の実現に向け

た社会実験を行っています。

また、昨年9月には、「おしゃで居心地良く、利便性の高い空間」をテーマに中央公民館と市立図書館中央分館をリノベーションしました。休憩や打ち合わせができるスペースがあり、「皆さん思いの過ごし方ができる場所にしたい」という思いをデザインし、形にしました。

ぜひ、中心市街地にお越しの際には気軽に立ち寄りいただければと思います。

御殿堰を生かした回遊性のあるまちづくり

山形市では「粋な町七日町」、通称「粋七」をコンセプトに、御殿堰に沿って景観性の高いまち並みとまちなか回遊の向上を目指した魅力あるまちづくりを進めています。

昨年11月に十一屋七日町本店がリニューアルオープンしましたが、御殿堰を生かした回遊性のあるまちづくりという考え方に賛同いただき、お店を改築していただきました。十一屋南側の御殿堰整備も着々と進んでおり、3月末には完成します。完成すれば、水の町屋七日町御殿堰、ルルタスと合わせて、中心市街地の顔としてデザインされた非常に魅力ある空



間になると思っています。

御殿堰は、山形市の誇るべき重要な歴史資産である「山形五堰」の一つです。山形五堰は、昨年11月に「世界かんがい施設遺産」に登録されました。また、今年山形五堰の建設から400周年という節目を迎えますので、そうしたこともこれからPRの一つの材料として、しっかり発信していきます。

そうした取り組みを行ってきた結果、毎年10月に行っている歩行者通行量調査の令和5年の結果が、平成21年以来的の最高値になりました。

これについては、中心市街地ブランドデザインというビジョンをしっかりと掲げ、そのビジョンにのつとった積極的な政策を行ったことが重要でした。行政が本気度を

示したことで、そのビジョンが民間企業や市民に伝わり、共感を得ることができました。そのことが十一屋のような民間投資や新規出店などにつながり、中心市街地の魅力を高める相乗効果を生み出したと思っています。

レールのない時代に主体的に生きる力をつける教育

未来のまちづくりを担う子どもたちの教育にも力を入れています。

山形市が進める3つの学び

これまでの成功体験が通用しない、不確定で多様な人生の生き方がある今の時代、いわばレールのない時代を生きていく子どもたちには、自分の人生を自分で考え、自ら一つ一つ選択していく「主体的に生きる力」が必要になります。自ら考えるためには、さまざまな知識が必要ですが、知識だけでなく、他者との対話によりいろいろな考えに触れることや、自ら課題を設定して解決のために行動することも重要です。そうした時代を生きる子どもたちに必要な力をつけてもらうために、山形市が進めているのが「主体的で探究的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」の3つです。その3



▲電子黒板を使った授業風景

つの学びを進めるためには、電子黒板やAI型デジタルドリルソフトの活用が効果的であるとの判断から、山形市ではICT教育に力を入れています。

主体的で探究的な学び

3つの学びの中でも、これからの子どもたちに求められるスキルを身に付けるために特に必要なのが、「主体的で探究的な学び」だと考えています。主体的で探究的な学びは、問いを立て、考え、行動する学びと言えます。

これまでの教育は問題を解くことが中心でしたが、これからは、問題を解くだけでなく、自ら課題を見つけることが重要になって

きます。自分が感じた違和感、疑問に思ったことの「なぜ」を突き詰めて課題を設定し、解決策を導き出す力が必要になってくると考えています。山形市は、未来ある子どもたちの輝く将来像をイメージし、教育をデザインしています。

誇るべき山形市民のデザイン思考

山形市には東北芸術工科大学があることもあって、デザインでできる人材が豊富にいます。一方で、伝統工芸など江戸時代から続く流れも多く残っています。例えば、山形铸件も単なる工業製品として残っているわけではない。商品であると同時に作品であり、職人の作家性が色濃く反映されています。

そうしたところに、市民のデザインを大切にするというものもとの素地があると感じています。

そういう歴史的な流れのある中で、最近では、市内のラーメン店主の有志が設立した協議会が「山ラー」というロゴを作成しました。市内のラーメン店でこの赤いのぼりを見かけたことがある方も多いと思います。

市内にある個性あふれる多種多

ラーメンの聖地、山形市



様なラーメンのPRを統一的に行っていくために「山ラー」というキャッチコピーとロゴを作ったわけですが、これもデザイン思考に基づく取り組みだと言えます。

また、昨年10月、地元のスーパーであるエンドーのげそ天がグッドデザイン賞の金賞を受賞しました。金賞は全国に数多くあるグッドデザイン賞の中でも20件しかなく、東北では唯一の受賞となる快挙です。エンドーが市内のデザイン会社と一緒にブランディングを行ってきた結果であり、デザインの力によって山形市の名物がまた一つ増え、魅力が高まった好事例であると思います。

ユネスコが認めた山形市の多様な地域資源。その地域資源の魅力をデザインの力を活用して高めていく。そうした取り組みをさまざまな主体が行うことで、山形市はもっと文化の香る豊かなまちになるのではないかと考えています。



まちなかから 創造を

やまがたクリエイティブ
シティセンター

Q1



写真提供 ©株式会社Q1

株式会社Q1
代表取締役 馬場 正尊 氏

「文化創造都市の拠点施設をどう
いう場所にしようと考えたのでし
ょうか。」

「山形市がユネスコ創造都市ネ
ットワークに認定されたその決め
手となったのは、映画はもちろん
食文化や音楽やデザインといった
創造都市の7分野が全てバランス
よくそろっていたことが評価され
たから」と佐藤市長はおっしゃっ
ていました。一方で、そんなふう
に世界が認めてくれるほどクリエ
イティブにあふれたまちなかに、

あまりにも身近すぎるからか、山
形市民は自分たちのまちがクリエ
イティブであることを意識できて
いない面もありました。ですから
「ここに来れば山形のクリエイテ
イブを体感できる、ここから山形
らしいクリエイティブが生み出さ
れていく」ような場所をつくらう、
という方向性が生まれました。

「Q1のコンセプトを教えてください。
ユネスコがうたう「クリエイテ

イブ」とは、単に文化的であるこ
とにとどまりません。市民や企業、
行政みんなが創造的な活動をする
ことによって新たな経済を生み出
していく。そうした新しい経済を
動かすエンジンとして位置付けら
れているのが「クリエイティブ」
なのです。Q1のコンセプト「地
域のクリエイティブと地域の産業
を暮らしてつなぐ」は、そうした
考えに基づいてできました。

このコンセプトに共感したテナ
ントとしてQ1に入ってくださいた
事業者は、それぞれが自分なりに
考えて行動してくれていますし、
高付加価値な商品やサービスを提
供することを通して創造都市の理
念を体現してくれています。

また、イベントスペースを利用
してくださっている市民の皆さん
も、こちらが想像もしていなかっ
たようなユニークな空間の使い方
をされていて「あ、このコンセプ
トに共感する人たちが集まって
いるんだなあ」という印象を受け
ています。

「建物のデザインのポイントを教
えてください。」

ここはもともと山形市立第一小
学校の旧校舎でした。築100年
近くにもなる建物で、たくさん
人の思い出や記憶が詰まっていま
すから、建物自体の文脈や空気感
をできるだけ残すべきだと思いま

した。ですので、建物の「素」の
状態をそのまま生かしている、と
いうのがデザインのポイントと言
えるでしょう。実際にこの校舎で
学んだ卒業生の方たちから「Q1
に来て、懐かしさを感じた」とお
っしゃっていたことも多いので、
当時の面影を残すことができ
て良かった、と思います。

「今後、Q1でやってみたいこと
を教えてください。」

これから大切なことは、子ども
たちが自分のまちの未来を考えた
りデザインしたりする、という経
験ではないでしょうか。例えば、
市内の小中高生と一緒に山形市の
未来をデザインするようなワーク
ショップを開いてみたいですし、
Q1のテナントの皆さんが提供し
ている付加価値の高い商品やサ
ービス、デザインに子どもたちには
もっともつと触れてもらいたいで
す。幼いうちから自然と染み込む
ようにクリエイティブを体感して
いること、それ自体がすでに教育
だと思えます。きつとコパルで育
った子どもたちはデザインセンス
も自然と良くなっていくはずだ
よね。ですから、ぜひ、このQ1
にもっともつとたくさん子ども
たちに来てもらって「何か」を感
じ取ってもらえたらな、と思いま
す。

みんなを 包み込む空間

シェルターインクルーシブ
プレイス
コパル



シェルターインクルーシブ
プレイス コパル
館長 色部 正俊 氏

「「インクルーシブ」を体現するために工夫していることを教えてください。」

「目の前のくさん・隣のくさん・近くにいるくさんのことを理解しようとする」ことが原点です。「コパル」には、個々の子(こ)を尊重しながら仲間づくり(パル)をしていこう、という願いが込められています。「性別・年齢・国籍・障がいの有無を超えて、全ての人にとって心地良い居場所をつくる」というインクルーシブの理念を実現するには、個に寄り添うことが全ての始まりです。さまざまな立場や背景を持つお子さんの笑顔を思い浮かべながら議論を重ね、建築やイベントという「カタチ」、おもてなしという「ココロ」でチームの思いを体現できるように努めています。

「コパルに来ると心の角がとれますね」「どんな観光名所よりもここに来るといい」「何よりスタッフの対応がインクルーシブそのものですね」など、来館者が

らともありがたいお言葉をいただきました。全国でも極めて事例の少ない「インクルーシブプレイス」の魅力をコパルから発信していきます。

「コパルのテーマの一つである「生きる力」について教えてください。」

「生きる力」の中でも、特に「考える力」を育みたいと考えています。野山で遊ぶ時には、危険を回避したり、遊び方を考えたり、仲間とルールを相談したりと、無意識のうちにさまざまなことを考えながら楽しむでしょう。まさにコパルは、「自然の中で遊びを創造する場」を提供しています。ですから、エリアごとの年齢制限もなく、禁止事項の貼り紙も最低限にしてあります。自分と違う立場や背景を持つお友達がいる前提で互いを認め合い、遊びのルールを考えていく。大人が決め過ぎないことも、「生きる力」を育むためには必要なことだと思っています。

「コパルのテーマの一つである「地域共生」について教えてください。」

「アテンドメント」「市民ワークショップ」が地域共生の柱です。「アテンドメント」というボランティア制度があり、18歳〜80歳の45人が、見守り、清掃、読み聞かせな

どのサポートをしてくださっています。

「市民ワークショップ」では、子どもや親子を対象としたワークショップや講座を企画、開催して下さる個人、企業、団体を募集しました。スポーツ・音楽・医療・介護・福祉・食育・エンターテインメントなど、幅広いジャンルの方から応募があり、地域の皆さんと共に活気ある場づくりを実現しています。

「今後やってみたいことを教えてください。」

日本の未来を担う子どもたちに、一人でも多く「インクルーシブ」を伝えていきたいです。コパル内だけをインクルーシブ特別エリアと捉えるのではなく、「コパルから地域に、全国に、さらには世界に」と発信します。

これまで国内外から約29万人(海外22カ国)の来館者、1300件を超える視察(42都道府県)など、多くの方々よりお越しいただき心より感謝申し上げます。これからも、インクルーシブな設計、建築、そしてインクルーシブな運営、維持管理をご体感いただき、皆さんと共に魅力的な「インクルーシブプレイスづくり」を推進していきたいと思えます。

新年は1月2日から開館いたします。皆さんのお越しを心よりお待ちしております。



居心地が 良い場所

市立図書館中央分館
中央公民館

リーノベーションのポイントを教えてください。

これまで灰色のタイルだった床を濃藍色のカーペットに変えているのですが、この濃藍色というのは夜明け前や日没後の空の色で、人の心をリラクセスさせてくれます。また、橙や黄色に近い木製家具の補色となることで家具の存在がより目立つようになり、木質感にあふれた図書館という雰囲気効果的につくりだしています。硬いタイルから柔らかいカーペットへと材質の質感の変化により、無機質な施設感が消えて、居心地の良い空間という印象が生まれました。このように、コストを抑えながら、色や素材を工夫するだけで、空間の印象を一変したことです。それが大きなポイントです。

—他に留意したところはどのようなことですか。

「自然が身近にある」という山形市の良さを感じられるような工夫です。この場所が4、5階とい



株式会社 井上貴詞建築設計
事務所
代表取締役 井上 貴詞 氏

う高層階にあるという利点を生かし、窓辺を有効活用してカウンターを作りました。これによって勉強や読書などをしているときでも、ふと顔を上げれば窓から山々が見えるようになりました。山形の身近な自然の美しさを移ろいに気付く場にもなればと思います。

—本を読むだけでなくさまざまな使い方ができそうな印象を受けます。

勉強や読書に集中できる静かなスペースもあれば、話しながらくつろげるスペース、子どもに読み聞かせができるスペースなど、いろんな人が思い思いの過ごし方ができる空間を目指しました。勉強する場合でも、一人で机に向かって集中できたり、グループワークやディスカッションができたりと、多様化している学習形態に対応できるようバリエーションを設けました。多様な人の居場所になるようにと考えています。



—1階のブックポストにキャラクターを描いた意図はなんでしょうか。

一般的に図書館というのは本を借りに行ったり、読みに行ったり、自分から出向く場所ですが、もっと本自体が人に寄り添ってくるような関係性を表現できないだろうかと考えました。そこで本をモチーフにしたキャラクターを作り、館内各所に登場することで、キャラクターの方から歩み寄ってくるような親近感を感じてもらおうと考えました。「あれ、なんだろう?」と見つけてもらい、物語を想像してもらえたらうれしいですね。

—実際に完成後の利用者の様子を見て、どう思いましたか。

非常に多くの方々に利用していただくようになり、想像以上の効果が出ていると感じます。学校帰りに立ち寄って勉強している高校生、パソコンを広げる大学生や社会人、飲み物や食べ物を持って来て遊ぶ小学生など、いろんな人が自分の目的に合わせた利用の仕方をしてきています。この新しい印象をまとった中央公民館と図書館がこれからますます大勢の人の居場所となってくれるのを楽しみにしています。

歩いて楽しい 商店街に

大手門通り
すずらん商店街



写真提供：株式会社オブザボックス



大手門通り
すずらん商店街振興組
理事長 船山 隆幸 氏

「歩行者天国など道路を活用した
取り組みを始めたきっかけを教え
てください。」

商店街というのは従来は買い物
をメインに消費する場所だったわ
けですが、今では小売店は激減し、
夜の飲食店が多くなっている。時間
消費にシフトしています。これは
全国的な流れで、私たち大手門通
りすずらん商店街も状況は同じ。
日中はシャッター通りだと思われ
ることもあります。そんな中、山
形市が掲げている「歩くほど幸せ
になるまち」というビジョンに沿
った形で「商店街を歩くというん
な発見があって面白いよ」という
提案をしていこうと考えました。

「具体的にどういう取り組みを行
ったのでしょうか。」

「すずらんナイト」と題し、車
道を歩行者天国にする取り組みを
行っています。これまでに、東北
芸術工科大学が主催する「山形ピ
エンナレ」の会場として活用し
てもらったり、モンテデイオ山形

のパブリックビューイングなどを
行ったり、たくさんの人に来てい
ただきました。

「どのような効果があったのでし
ょうか。」

まず、商店街に興味を持った若
い方が現れるようになりました。
例えば、東北芸術工科大学の学生
や卒業生が「自分で製作したスト
リートファーニチャーを商店街に
置いてほしい」と声を掛けてくれ
て、パークレットのサインをデザ
インしてくれたり、歩道の空間を
デザインしてくれたり。そんな彼
らの登場によってとても心地良い
空間が生まれたことで、観光客が
座って地図を開いたり、お年寄り
が休憩したり、ゆっくりと世間話
をすることができたりと、これま
でただ通り過ぎるだけだった商店
街に目を向けて、足を止めてくだ
さる方が多くなりました。

また、「すずらんナイトでこん
なことをやってみよう」という提
案をいただくことも多くなり、商
店街に関わってくれる人がどんど
ん増えてきていると実感していま
す。

「今後どういう商店街にしてい
きたいですか。」

商店街は、情報を得る場所でも
あると思います。例えば、地元
の人がお薦めするお店を知りたい観

光客の方もいますよね。パークレ
ットやストリートファーニチャー
などの滞在できる空間があること
で、お客さんとのコミュニケーション
の距離が近い場所にしていく
たらと考えています。

また、商店街に関わりを持って
一緒にチャレンジしていくという
空気が広がっていけば、これま
で商店街になかなか来なかった人
たちが足を運んでくれるかもしれ
ませんし、ここにお店を出したい
という人が増えてくるかもしれま
せん。「山形市を元気にしたい」
という前向きな思いと豊かなアイ
デアを持つ人たちが集まってくる
ような商店街になっていくとい
いな、と思っています。



写真提供：株式会社オブザボックス

「来て、見て、感じて」 山形市を知ってほしい

移住体験してみませんか

これからのライフプランを考えた時に、思い描く自分はどんな姿でしょうか。子育てに奮闘する姿、バリバリ働く姿、趣味を楽しむ姿…人それぞれ思い浮かべる生き方があると思います。都会の生活から離れて、自然に囲まれた土地でゆったり過ごすのもおススメです。

市では令和4年度に「移住促進係」を新設し、移住希望者に向けて「山形市オーダーメイド型移住体験ツアー」を実施しています。このツアーは山形市での暮らしや仕事、子育てなど、参加者のニーズに合わせて、職員が山形市内を案内するもの。

これまで首都圏を中心に39組78人が参加し「実際に来てみて印象がすごく変わった」「街からの景観が素晴らしい」「自然がこんなに近いなんて」「子育て施設が充実していて無料なんて考えられない」「雪深い地域と思っていたけれど雪が少なくてびっくり」など、来る前の移住に対する不安がポジティブな印象に変わったようです。本当に知りたい雰囲気や生活を体験したことで、13組24人の方が山形市への移住を決めています。

ぜひ山形の空気を感じてみて

ツアーの案内を担当する移住窓口強化推進員も関東からの移住者。同じ立場だったからこそ、新しい土地に移り住むに当たって不安に思うことや困ったこと、教えてほしいことが分かります。豊かな自然や食そして温泉、歴史や文化を感じさせる町並みなど、自分が山形市に移住してきて感動した、他の都市にはない魅力も新たな角度から案内しています。

ツアーに参加したことで、果樹農家への就農や移住のために家を建設中の方など、新しい生活に向けて準備を進めている方々がたくさんいます。「冬の山形市で生活できるか不安」とお考えの方、これらのシーズンが雪国の暮らしを知るチャンスです。まずはこの移住体験ツアーを通じて山形市の空気に触れてみませんか。

県外のお知り合いにも、ぜひ山形市への移住をご紹介ください▼



【ヤマガターン】

問 企画調整課 ☎内線396

移住ツアー体験者の感想



50～60代
シニア世代の方たち

- 観光では寄ることのなかった様々なスーパーやホームセンター、病院なども案内していただき、生活するイメージができました。
- 素晴らしい建造物や自然もありつつ、都市機能が充実したバランスの良い場所であることがわかりました。

移住ツアー体験者の感想



30～40代
テレワーカーの方たち

- 山形市がもつ自然、食、温泉、そこに集まる人々の温かさといった「文化の質の高さ」に触れ、東北で自分の居場所や経済を創る可能性を感じました。
- オーダーメイド型ツアーなので、自分が事前に知りたいと思っていた部分をピンポイントで知ることができました。

移住ツアー体験者の感想



20～40代
子育て世代の方たち

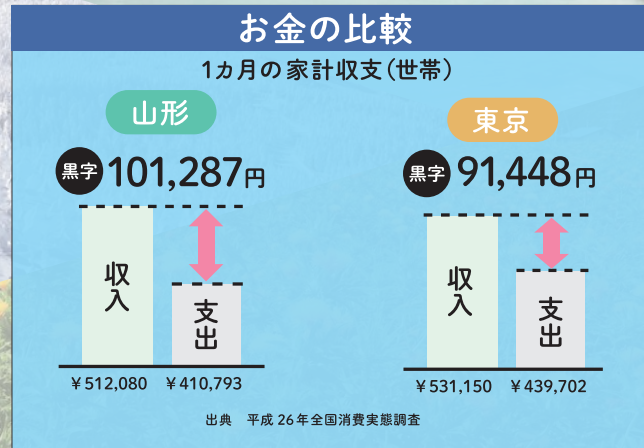
- 子育て関連施設や病院の数も充実しているので子育てしやすい環境だとわかり、移住への意欲が高まりました。
- 公立の進学校が多いことや小中学校でAI型教材の導入がはじまることを伺い、教育水準が高いということがわかりました。

東京での暮らしと比べてみよう

黒字 約1,154万円↑
多くたまります!

山形	約3,890万円
東京	約2,736万円

30年間で
比べると



住まいの比較

	持家率	持家㎡数	家賃
山形	1.7倍↑ 74.9%	1.72倍↑ 160.89㎡	約半額↓ 4.67万円/月
東京	45.0%	93.28㎡	8.71万円/月

出典 平成30年住宅・土地統計調査

通勤時間の比較

	通勤時間(片道)	帰宅時刻
山形	19.2分	18:28
東京	44.5分	19:13

出典 平成28年社会生活基本調査



つなげる つながる - 移住してみても -

高安 恭介さん

埼玉県出身。令和5年4月、山形市初の地域おこし協力隊として就任。移住促進のプロモーション業務を担当し、チラシや移住パンフレットのデザイン、プロモーション動画制作の他、山形での生活をイラストにしてSNSで発信。独自のタッチで描かれたイラストにファン急増中。

今のどこかさん

千葉県出身。歴史が好きで、たまたま募集していた文化財の保存活用などのマネジメントをする地域おこし協力隊に目を引かれ、令和5年6月に就任。文化財の管理や市郷土館での企画展などを通して、自身の目から見た山形市の魅力を発信中。



今さん(左)と高安さん(右)

今 地域おこし協力隊として移住してみてもいいですか？山形市での暮らしは。

高安 移住前に比べてストレスが減り、リフレッシュできる機会も増えて幸福度が上がったように感じます。それに知り合いが増えたり、行きつけのお店ができたりと毎日たのしい。古くてカッコいい建物が多く残っているのも魅力的。当初はびっくりするぐらい聞き取れなかった山形弁にも今では耳が慣れてきました。

今さんは移住後のギャップとかはありましたか？

今 東北に来たはずなのに、夏がものすごく暑い。さすが日本の最高気温を長らく保持していただけありますね。夏は暑く冬は寒い盆地型の気候は、関東出身者からすると、正直きつい部分があります…。

それと、私はサクラソボが大好きなので、たくさん食べられると思っていましたが、値段が意外と高かったことです。楽しみにしていた令和5年本格デビューの紅王は高価でしたが、とてもおいしかったです。

高安 そうなんです。僕は車が必要なのかと移住前は思っていたけど、いざ移住すると自転車を使って、休日は自転車で市内のあちこちを巡っています。



今 私も車を持っていないので、休みの日は山形市内を歩いて回ったり、周辺を観光したり。山形市内で開催される芸術祭のイベントを見に行くことも多いです。秋は毎月さまざまなイベントが開催されていたので、楽しみが多かったです。

都会を感じなくなったときは仙台に行きます。仙台への交通の便がとても良いのが驚きでした。でもたまに大きな街に行くと、山形は住みやすいなあと実感します。

高安 僕、気になっているお店をリストにしているんですよ。そのリストを見ながらランチやイベントに行つて、喫茶店でお茶してから、必ず最後は温泉に入つて帰ります。

山並みのグラデーション、広々とした空、迫力のある雲や光の移ろいが本当に美しい。



縁が

生まれも育ちも関東平野の僕は、この山のある風景に心を奪われています。11月ごろは紅葉の山のバックに雪山があつて、それを同時に見られるのもすごい。



▲高安さんが描いたイラスト

それに親切な人が多い。ご近所さん、お店の人も本当に親切で優しい。

「多く採れたから」「たくさんもらったから」といって、旬の野菜や果物をお裾分けしてくれることもありがたい。ただ、お返しできることが少ないのがもどかしい。

今 温かく迎え入れてくれる人が多いのが、とてもありがたいですね。仕事以外での知り合いを作りたくて、とある教室に参加して



みましたが、年齢も所属も違う人たちが一緒に楽しんでいる、すてきな環境でした。大会の応援に行ったり、みんなでごはんに行ったり、その輪に入れてもらえたことがとてもうれしかったです。

イベントや集まりにも誘ってもらったりして…。芋煮会に呼んでいただいたときは、山形の郷土料理をごちそうになり、いろいろな人とお話でき、楽しい時間でした。

高安 僕は山形市に胃袋をつかまれました(笑)。ごはんも麺類も果物もおやつも何を食べてもおいしい。水道水でさえおいしい。舌が山形サイズされてしまったのか、帰省して外食する際、味に満足できなくなりました。温泉も身近にあつて気軽に入れてうれしい。東京では入浴料が千円ぐらいで、めったに行かなかつたけど、山形に来てからは料金もお手頃なのでよく行っています。

最後に一言

今 市内に歴史的建造物が多く残っていると、ころが最大の魅力だと思います。明治や大正の建築が市街地に多く残っていて、歩くだけで面白いです。私が仕事で関わっている山形市郷土館は、明治初期に初代県令三島通庸の命で建てられた建築のうち、唯一現存するものです。明治時代の姿は当時の写真家が撮影

した写真で見られますが、そのままの姿で霞城公園内に復元移築されていることが分かります。

郷土館では1月25日まで、明治の御用写真家が撮影した山形県内の古写真を展示する企画展を開催中です。冬休みにぜひ遊びに来てください！

高安 僕はもともと山形に縁やゆかりはなかったけれど、ありがたいことに移住してきてから、いろんなところで縁を結んでもらえています。

朝起きて、住んでいる古民家のベランダから朝日をうけて輝く山並みを眺めるたび「ここにきてよかったなあ」と感じています。山形市で初めて迎える冬は、きつと前に住んでいた街より厳しいかもしれないけど、なんだか楽しく暮らせたらと思います。移住してきてすてきだと感じたことや驚いたことなど、移住者視点で見た山形市の魅力をインスタグラムでも紹介しているので、よかったらのぞいてみてください。

<p>市郷土館</p>  <p>【Instagram】</p>  <p>【Facebook】</p>	<p>高安さん</p>  <p>【Instagram】</p>  <p>【X】</p>
--	---

山形市からの お知らせ

山形市役所
〒990-8540 旅籠町二丁目3番25号
☎641-1212(代表)

償却資産の申告

令和6年1月1日現在、商店・店舗、工場、農業、不動産賃貸等の事業をし、償却資産を所有している方(個人事業主・法人)は、償却資産の申告が必要です。提出期限は1月31日です。

前年度申告をいただいた方へ申告書類は送付済みですが、まだ届いていない方や新規に事業を始めた方はご連絡ください。
[eTAX(エルタックス)]を利用した、インターネットでの申告もできます。詳しくは、eTAXホームページをご覧ください。

問 資産税課 (☎内線319)



法務大臣表彰の受賞おめでとう ございます

【受賞者】 勝見祐子さん (銅町)
多年にわたり地域の相談役として相談者に寄り添い、人権問題の解消に尽力するとともに、人権擁護委員組織体の運営に貢献されてきました。令和5年10月23日付で、法務大臣表彰を受賞されました。

問 総務課 (☎内線253)

公共交通課のお知らせ

問 内線928

◆南くるりん 本年度最終運行

時 1月15日(月)～31日(水)
※運行期間が変わっていますのでご注意ください。

内 (運行ルート) イオンモール山形南
～東北芸術工科大学前
※運行時間や運賃等詳しくは、ホームページをご覧ください。

◆**橋っちゃん丸タフシー 第2期運行開始**
時 1月の水・金曜日
費 中学生以上500円、小学生・障がい者250円、未就学児無料
※運行エリア等詳しくは、ホームページをご覧ください。

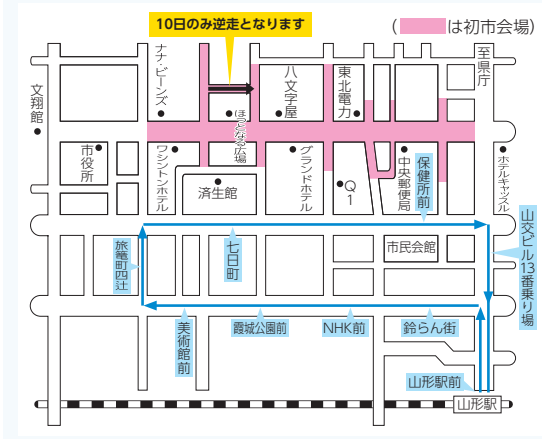


◆**初市開催に伴う交通規制**
時 (規制日時) 1月10日(水)午前9時30分～午後6時30分
所 国道112号線(十日町・本町・七日町)



【「橋っちゃん」バスの迂回運行】

1月10日(水)は中心市街地エリアを終日のとおり迂回して運行します。また、東部・西部エリアから中心市街地エリアをまたぐ利用の際は、山形駅前で乗り換えが必要です。



「メルカリエコボックス」無料配布

所 市役所10階ごみ減量推進課窓口
内 1人1セット(エコボックス1箱、梱包資材3個)

※数に限りがありますので、事前にお問い合わせください。
※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



問 ごみ減量推進課 (☎内線698)

「充電式家電・充電池回収ボックス」をご利用ください

所 市役所1階市民相談窓口付近、各公民館(中央公民館を除く)(※いずれも小型家電回収ボックス脇に設置)
※充電式家電・充電池を集積所に出すときは、透明袋に入れて月1回の埋立ごみの日に出してください。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



問 ごみ減量推進課 (☎内線694)



水道メーター取り換え(1月分)

内 六日町、宮町4丁目
問 上下水道部業務課 (☎645-1177)

結婚相談会

時・所 1月16日(火)午前10時～午後3時
市役所10階委員会開催室
1月28日(日)午前10時～正午・江南公民館第三研修室

内 ボランティア仲間「やまがたし良縁隊」による個別相談
対 結婚を望む独身男女やその家族等先着10人程度
申 事前に電話で企画調整課へ
※仲人さんも随時募集中です。

問 企画調整課 (☎内線223)

刑務所作業製品 展示即売会

- 時** 1月16日(火)・17日(水)午前10時～午後3時
- 所** 市役所1階エントランスホール
- 内** 木工製品や生活雑貨等の展示・販売
- 問** 生活福祉課 (☎内線595)

**【Women's Campus 山形】
地域や企業の女性活躍推進を目指すグループ活動発表会**

- 時** 1月25日(木)午後3時～5時
- 所** 市総合福祉センター2階交流ホール
- 対** 先着100人
- 申** 氏名、所属(企業・団体名)を記入の上、Eメール (eventinfo@trillover.jp) で(二次元コード)からの申し込み可)
- 問** ※無料託児有り(要予約)。
市男女共同参画センター (☎645-8077)

**山形／仙台／東北ワークフェス
(WEB企業・業界研究会)**

- 時** 2月5日(月)・6日(火)午前10時～
- 所** オンライン
- 対** 令和7年卒業予定の大学・短大・専門学生等(既卒3年以内の方を含む)・東北地方に就職希望・興味のある方
- 申** 二次元コードから
- 問** 産業政策課働きやすさ追求室 (☎内線411)



消防出初式

- 時** 1月21日(日)午前10時～11時15分
- 所** 本町・七日町大通り、市役所前大通り
- 問** ※午前9時30分～11時15分は周辺道路が通行止めとなります。ご理解とご協力をお願いします。
- 問** 消防本部総務課 (☎634-1199)

ベニちゃんバスの一部運休

- 時・内** 1月21日(日)
午前9時15分山形駅前発～11時17分山形駅着の中心市街地エリア
- 問** ※午前11時15分山形駅発から運行を再開します。
※東部・西部エリアは通常どおり運行します。
公共交通課 (☎内線926)



募 集

**「山形まるごと館紅の蔵」サウン
ディング型市場調査**

- 問** 「飲食」等の機能を中心に見直しを検討するために実施します。
- 申** 1月10日までに、説明会・現地見学会エントリースートをEメール

(brand@city.yamagata-yamagata.jp)

- 問** ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。
- 問** ブランド戦略課 (☎内線422)



きらやかスタジアムの広告募集

- 内** 来年度、プロ野球楽天1軍戦や各種東北・県大会等を開催予定のきらやかスタジアムに広告を掲載する企業・団体を募集します。
- 内** 〈掲出場所・区画〉
外野ラバーフェンス14区画
内野ラバーフェンス8区画
〈規格〉縦1.5m×横8.0m
- 申** 1月4日～2月5日に、郵送または直接スポーツ課へ
- 問** ※詳しくは、市ホームページをご覧ください。
スポーツ課 (☎内線636)



市営住宅入居者募集

- 内** 〈募集住宅〉【一般向け】大森・南ヶ丘・中校田・飯塚・北部・松原・双葉町アパート3DK…各1戸、南山形・銅町アパート2DK…各1戸
- 申** 【高齢・母子家庭等への割り当て住宅】大森アパート2DK…1戸
- 申** 1月4日～16日に、市営住宅管理センターへ

※その他、随時申し込みできる住宅もあります。詳しくは、お問い合わせください。

- 問** 市営住宅管理センター (☎673-0300)



イベント

1月の十日市初市

- 時** 1月10日(水)午前10時30分～(無くなり次第終了)
- 所** 山形まるごと館紅の蔵中庭
- 内** 初あめの振る舞い、獅子頭のお出迎え
- 問** 山形まるごと館紅の蔵 (☎679-5101)



YIDFF金曜上映会

- 時** 1月12日(金)午後2時～、午後6時30分～
- 所** 山形ビッグウイング3階試写室
- 内** 『日本解放戦線・三里塚の夏』の上映 (108分)
- 問** ※詳しくは、国際ドキュメンタリー映画祭事務局 (☎666-4480)へ。
- 問** 文化創造都市課 (☎内線777)

新春農業講演会

「23世紀型お笑い系百姓の挑戦」
炎上を乗り越えろー農チューバー
の挑戦〜」

時 1月25日(木)午後1時30分〜3時30分
所 市農業研修センター(東古館)
問 農政課(☎内線437)

なるほど「食品表示講座」

時 1月19日(金)午前10時〜正午
所 消費生活センター研修室
対 先着20人
申 1月4日〜17日に、電話で消費生活センターへ

※詳しくは、消費者連合会鈴木(☎090-1707318887)へ。

問 消費生活センター内市消費者連合事務局(☎64712201)

市立図書館の催し

問 ☎62410822

◆新春本の福袋貸し出し

時 1月4日(木)〜(無くなり次第終了)
対 本館80袋、各分館5袋

◆おはなしの広場

時 1月21日(日)午前10時30分〜11時
対 幼児〜小学生先着30人程度

◆とんとんのだのしい人形劇

時 1月27日(土)午前10時30分〜11時30分
内 人形劇「オオカミとフヒキのこやぎ」

対 幼児〜小学生とその保護者先着30人
申 1月4日から、電話で市立図書館へ

わくわくキッズキャンプ③

時 2月3日(土)〜4日(日)
所 市少年自然の家
内 雪山ハイキング、ラングラウフスキー、ナイトチューブすべりなど

対 市内の小学3・4年生20人程度(抽選)
費 2千円程度

持 洗面用具等宿泊に必要なもの、スキーウェア一式、内履き

申 1月15日までに、電話または市少年自然の家ホームページで

問 市少年自然の家(☎64318533)



教室・講座

多文化紹介講座

「外国料理教室(台湾編)」

時 1月14日(日)午前10時〜午後1時30分
所 東部公民館料理実習室

対 先着25人

費 会員1200円、一般2500円
持 三角巾、食器拭き用布巾、持ち帰り用容器2つ

申 電話または直接市国際交流協会へ
※協会への入会はお問い合わせください。

問 市国際交流協会(☎64712277)

スマートフォン活用講座

時・所 ①1月16日(火)午後1時30分〜2時30分、午後3時〜4時・飯塚コミュニティセンター
②1月23日(火)・24日(水)午前10時30分〜11時30分・東沢コミュニティセンター
③2月8日(木)午後1時30分〜2時30分、午後2時30分〜3時30分・高瀬コミュニティセンター

対 各回先着16人
持 お持ちの方はスマートフォン

申 ①1月12日までに、電話(☎64413479)または直接飯塚コミュニティセンターへ②1月19日までに、電話(☎62215480)または直接東沢コミュニティセンターへ③2月1日までに、電話(☎68603341)または直接高瀬コミュニティセンターへ

問 情報企画課(☎内線876)

国際交流センターの講座

時 1月20日(土)午後1時30分〜3時

対 先着20人

◆英語のストーリータイム
時 1月21日(日)午前10時〜11時、正午〜午後1時

対 5歳〜12歳各回先着10人

◆英語のストーリータイム Owl's Nest
時 1月21日(日)午後2時〜3時

対 英語力の高い5歳〜12歳先着10人
※申 いずれも電話で国際交流センターへ

認知症サポーター養成講座
時 1月23日(火)午前10時30分〜正午(午前10時開場)

所 市役所11階大会議室

対 先着40人

申 1月5日から、電話で長寿支援課へ

問 長寿支援課(☎内線599)

福祉文化センターの講座

時 1月25日(木)、2月1日(木)午後1時30分〜3時30分(全2回)

対 身体障がい者手帳の所持者15人(抽選)
②働く女性の家・東部公民館共催事業

山形伝統料理「すっぽこ」をつくってみよう
時 1月27日(土)午前10時〜正午

◆希望の家「生活支援事業」
「みんなで歌おう教室」〜昔懐かし歌謡曲や童謡を歌いませんか〜

時 1月25日(木)、2月1日(木)午後1時30分〜3時30分(全2回)

対 身体障がい者手帳の所持者15人(抽選)

時 1月27日(土)午前10時〜正午

山形市からのお知らせ

公民館の催し

対 小学生先着12人
費 200円(材料代)
申 1月5日～27日に、電話または直接西部公民館へ

中央公民館

問 ☎62312150

南部公民館

問 ☎6416701

◆第33回やまがたサークルフェスティバル
時 【ステージ発表】1月28日(日)、2月4日(日)
 いずれも午前10時30分～、午後1時30分～

◆南部歴史講座
時 1月22日(月)午後1時30分～(2時間程度)

内 【ステージ発表】和太鼓、舞踊、フラダンス等。【作品展示】絵画等

内 山形城主最上氏と鳥居氏の愛宕権現信仰
対 18歳以上の方先着30人
申 1月6日午前9時から、電話または直接南部公民館へ

◆作品展示】1月25日(木)～1月28日(日)午前10時30分～午後3時30分

◆食べて知る健康講座(全2回)
時・内 2月15日(木)・薬膳を知る、2月22日(木)・スパイスを知る
 いずれも午前11時30分～午後1時30分

◆「中国茶」初級編「香りで楽しむ烏龍茶」
時 2月10日(土)午後1時30分～3時30分
対 18歳以上の方先着10人
費 1200円(材料代)
申 1月11日午前9時から、電話または直接南部公民館へ

◆理科実験教室「箱カメヲをつくろう」
時 2月3日(土)午前10時～正午

◆「わかりやすい相続と遺言」講座
時 1月27日(土)午後2時～4時
対 18歳以上の方先着16人
申 1月4日～22日に、電話または直接元木公民館へ

◆食べて知る健康講座(全2回)
時・内 2月15日(木)・薬膳を知る、2月22日(木)・スパイスを知る
 いずれも午前11時30分～午後1時30分

◆「わが家」の健康講座
時 1月11日～18日に、日本防火・防災協会ホームページで
申 消防本部予防課(☎6341195)

◆甲種防火管理 新規講習
時 3月5日(火)～6日(水)
所 山形ビッグウイング
対 先着200人
費 8千円
申 1月11日～18日に、日本防火・防災協会ホームページで
問 消防本部予防課(☎6341195)

◆障がい者健康ヨガ教室
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 福祉文化センター
対 市内在住・在勤・在学の障がい者手帳所持者先着15人
申 1月25日までに、電話またはFAX(☎6327091)で障がい福祉課へ
問 障がい福祉課内市身体障害者福祉協会(☎内線596)

◆男女共同参画講座「人生を豊かにする自分史をつくろう」
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 市男女共同参画センター5階視聴覚室
対 会場先着20人
申 1月4日から、会場参加は電話で
問 ※1歳以上未就学児無料託児有り(先着順。1月18日まで要予約)。

◆普通救命講習I
時 1月28日(日)午前9時～正午
所 消防本部西消防署(西崎)
対 先着40人程度
申 電話で救急救命課へ(平日の午前8時30分～午後5時15分)
問 消防本部救急救命課(☎6341193)

◆甲種防火管理 新規講習
時 3月5日(火)～6日(水)
所 山形ビッグウイング
対 先着200人
費 8千円
申 1月11日～18日に、日本防火・防災協会ホームページで
問 消防本部予防課(☎6341195)

◆障がい者健康ヨガ教室
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 福祉文化センター
対 市内在住・在勤・在学の障がい者手帳所持者先着15人
申 1月25日までに、電話またはFAX(☎6327091)で障がい福祉課へ
問 障がい福祉課内市身体障害者福祉協会(☎内線596)

◆男女共同参画講座「人生を豊かにする自分史をつくろう」
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 市男女共同参画センター5階視聴覚室
対 会場先着20人
申 1月4日から、会場参加は電話で
問 ※1歳以上未就学児無料託児有り(先着順。1月18日まで要予約)。

◆普通救命講習I
時 1月28日(日)午前9時～正午
所 消防本部西消防署(西崎)
対 先着40人程度
申 電話で救急救命課へ(平日の午前8時30分～午後5時15分)
問 消防本部救急救命課(☎6341193)

◆甲種防火管理 新規講習
時 3月5日(火)～6日(水)
所 山形ビッグウイング
対 先着200人
費 8千円
申 1月11日～18日に、日本防火・防災協会ホームページで
問 消防本部予防課(☎6341195)

◆障がい者健康ヨガ教室
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 福祉文化センター
対 市内在住・在勤・在学の障がい者手帳所持者先着15人
申 1月25日までに、電話またはFAX(☎6327091)で障がい福祉課へ
問 障がい福祉課内市身体障害者福祉協会(☎内線596)

◆男女共同参画講座「人生を豊かにする自分史をつくろう」
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 市男女共同参画センター5階視聴覚室
対 会場先着20人
申 1月4日から、会場参加は電話で
問 ※1歳以上未就学児無料託児有り(先着順。1月18日まで要予約)。

◆普通救命講習I
時 1月28日(日)午前9時～正午
所 消防本部西消防署(西崎)
対 先着40人程度
申 電話で救急救命課へ(平日の午前8時30分～午後5時15分)
問 消防本部救急救命課(☎6341193)

◆甲種防火管理 新規講習
時 3月5日(火)～6日(水)
所 山形ビッグウイング
対 先着200人
費 8千円
申 1月11日～18日に、日本防火・防災協会ホームページで
問 消防本部予防課(☎6341195)

◆障がい者健康ヨガ教室
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 福祉文化センター
対 市内在住・在勤・在学の障がい者手帳所持者先着15人
申 1月25日までに、電話またはFAX(☎6327091)で障がい福祉課へ
問 障がい福祉課内市身体障害者福祉協会(☎内線596)

◆男女共同参画講座「人生を豊かにする自分史をつくろう」
時 2月3日(土)午後1時～3時
所 市男女共同参画センター5階視聴覚室
対 会場先着20人
申 1月4日から、会場参加は電話で
問 ※1歳以上未就学児無料託児有り(先着順。1月18日まで要予約)。



* * * 健康 * * * ナビ * * *

育児

産後ケア事業

母子とその家族が健やかな育児ができるよう、母子への心身のケアや育児のサポート等を実施しています。1月申請分より対象を拡大します。

内 宿泊型ショートステイ、日帰りデイケア、乳房ケア、ママサポーター

対 産後ケアを必要とする全ての方

申 利用希望日の10日前までに、申請書を母子保健課へ

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

問 母子保健課 ☎647-2280



検診

各種がん検診 無料クーポン券の 有効期限は令和6年1月末まで

SUKSK
ポイント対象

無料クーポン券は対象者の方へお送りしています。ぜひ検診を受けましょう！

対 子宮頸がん：21歳の女性（平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ）

乳がん：41歳の女性（昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生まれ）

前立腺がん：61歳の男性（昭和37年4月1日～昭和38年3月31日生まれ）

※本年度すでに上記の検診を受けた方、手術歴のある方、治療中の方を除く。

問 健康増進課 ☎616-7272

健康

スクスク SUKSKメニューを 食べてみませんか

SUKSK
ポイント対象

山形市では、健康寿命の延伸のため、飲食店が提供する健康に配慮したメニューを「SUKSKメニュー」として認定しています。SUKSKメニューには、「食塩控えめ」「野菜たっぷり」「バランス」「SUKSK減塩」などの種類があり、地元でとれた食材も取り入れています。

健康に配慮したSUKSKメニューをぜひ食べてみませんか。

※メニュー提供店の詳細は、市ホームページをご覧ください。

問 健康増進課 ☎616-7271



健康

メンタルチェックシステム 「こころの体温計」をご活用ください

こころの体温計とは？

パソコンやスマートフォン、携帯電話で現在のこころの健康状態を把握するチェックシステムです。

自分の状態をチェックする「本人モード」や、家族の状態をチェックする「家族モード」など、6つのモードがあります。



〈利用方法〉

◆右の二次元コードから利用できます。

◆市ホームページから、「こころの体温計」で検索してください。

問 健康増進課 ☎616-7275



相談

心の病気・ひきこもりで 悩んでいませんか

【精神保健福祉相談】

眠れない、気分が沈む、お酒の問題で困っている、つらい気持ちが続く等で、お悩みではありませんか。本人やご家族の方を対象にした相談を行っています。

【ひきこもり相談】

ひきこもりに悩む本人やご家族を対象にした相談 ※いずれも精神科医による予約制の相談（毎月1回）。

所 霞城セントラル4階

申 電話で健康増進課へ

※精神保健福祉士・保健師による精神保健福祉に関する電話相談は随時、来所相談は予約制です。

問 健康増進課 ☎616-7275

1月の相談

市民相談

問 市民相談課 ☎内線240・241

一般相談

月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

土地の利活用相談

月～金曜日 午前9時～午後4時

人権・困り事相談

9日(火) 午後1時～4時

土地境界に関する相談

11日(木) 午前10時～午後3時

司法書士相続登記相談

12日(金)・22日(月) 午前10時～午後4時

行政書士相談

15日(月) 午前9時～午後4時

行政に関する相談

16日(火) 午前10時～午後3時

登記手続相談

17日(水) 午前10時～午後3時

※1日(月・祝)～3日(水)・8日(月・祝)を除く
(予約不要・当日窓口へ)

ファアラ相談室

問 市男女共同参画センター
(ファアラ) ☎645-8077

カウンセラーによる一般相談

日曜日 午後2時～5時

月・水曜日 午後2時～7時

火・金曜日 午前9時～正午

木・土曜日 午前9時～午後1時

※1日(月・祝)～4日(木)・8日(月・祝)を除く

法律相談

12日(金)・19日(金)・26日(金) 午後4時～6時

※1月4日から予約受け付け

助産師による女性の健康相談

思春期から更年期までの女性の健康、体の悩み、出産と育児などの相談をお受けします。

※各相談には事前の予約が必要です。

消費生活相談

問 消費生活センター ☎647-2211

消費生活・多重債務相談

火～日曜日 午前9時～午後5時

※2日(火)・3日(水)・9日(火)を除く

消費生活法律相談

25日(木) 午後2時～4時

※事前に消費生活相談を受けた方が対象です。

ふれあい総合相談

問 市社会福祉協議会 ☎645-8177

困りごと相談

月～金曜日 午後1時～4時

※1日(月・祝)～8日(月・祝)を除く

年金相談

9日(火) 午後1時～4時

税金相談

10日(水) 午後1時～4時

人権相談

18日(木) 午後1時～4時

法律相談

金曜日 午後1時～4時

※5日(金)を除く

※当日正午から、電話(☎645-8061)で予約を受け付けます。先着6人で、弁護士との相談時間は25分です。

各種相談

企業の経営相談(売上増進支援センターY-biz)

中小企業者の売上増進や販路拡大を支援します。

▶とき…月～金曜日 午前9時～午後5時

▶ところ…売上増進支援センターY-biz

▶問い合わせ…☎616-7900

※相談には事前の予約が必要です。

総合学習センター教育相談

▶とき…月～金曜日 午前10時～午後4時

※1日(月・祝)～4日(木)・8日(月・祝)を除く

▶ところ…総合学習センター(電話相談も可)

▶問い合わせ…☎645-6182(直通)

※不登校や学校生活、子育てなどの悩み相談をお受けします(受け付けは午後3時30分まで)。

※メール相談(soudan-y@ymgt.ed.jp)も受け付けています。

少年相談(青少年指導センター)

▶とき…月～金曜日 午後1時～5時

※1日(月・祝)～3日(水)を除く

▶ところ…青少年指導センター(来所相談も可)

▶問い合わせ…☎631-4425(直通)

※メール相談は市ホームページで24時間受け付け(返信は平日となります)

障がい児療育相談(まんさくの丘)

▶とき…14日(日) 午前10時～正午

▶ところ…まんさくの丘

▶問い合わせ…☎688-3540

※相談には事前の予約が必要です。

子ども電話相談(子ども家庭支援課)

▶とき…月～金曜日

午前8時30分～午後5時15分

※1日(月・祝)～3日(水)を除く

▶ところ…子ども家庭支援課(来所相談も可)

▶問い合わせ…☎641-3636(直通)

外国人専門相談(国際交流センター)

▶とき…17日(水) 午前11時～午後3時

▶ところ…国際交流センター

▶問い合わせ…☎647-2275

※相談言語…英語、中国語、韓国語(ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、インドネシア語での相談は要予約)。専門相談では、在留資格、帰化、永住、婚姻、外国からの呼び寄せ等の相談を受け付けます。※県行政書士会と連携して実施しています。※外国人専門相談以外の外国人の方の相談は随時受け付けています。





初市

問 観光戦略課 ☎内線423

時 1月10日(水) 午前10時～午後5時
所 国道112号線(十日町・本町・七日町)
縁起物の野菜(カブや白髭)・初あめ・
団子木などのほか、木工品など初市なら
ではの露店が立ち並びます。文翔館に隣
接する湯殿山神社には、市神様が祀ら
れています。併せて訪れてみてはかがで
しょう。
※詳しくは、山形商工会議所(☎
622-4666)へ。



ウィンターフェスティバル 山形冬の花火大会in霞城公園

問 ブランド戦略課 ☎内線409

時 1月10日(水) 午後6時30分～(約30分間)
所 霞城公園内
内 花火の打ち上げ(午後5時～FM76.2ラジオモンスターで実況生
中継)
◆霞城公園内最上義光像周辺を特別桟敷席として開放(午後6時東
大手門開場、先着1,000人)
◆市役所11階大会議室を開放(午後6時開場、先着100人程度)
※霞城公園東大手門・南門周辺、市役所11階大会議室で、中心商店
街で使えるクーポン券を配布します。
※イベントの詳細や通行規制情報等については、やまがた街
なか情報発信サイト「はい!やまがたでした!」をご覧ください。



さくら咲くやまがた 冬のさくらキャンペーン2024

問 ブランド戦略課内冬のさくらキャンペーン実行委員会
☎内線413

時 1月6日(土)～2月12日(月・振休)
内 桜をテーマとした創作メニューの提供や啓翁桜の展示、ク
イズなど
(参加施設) 山形グランドホテル、ホテルメトロポリタン
山形、山形七日町ワシントンホテル、山形駅西口ワシント
ンホテル、山形国際ホテル、山形まるごと館 紅の蔵、水
の町屋 七日町御殿塚、N-GATE NANOKAMACHIなど
※クイズ用紙は各参加施設に設置。正解者の中から抽選でベ
ニちゃんグッズをプレゼント。



時 とき **所** ところ **内** 内容 **問** 問い合わせ